

(表紙)

別添  
計画名:宿毛市災害に強いまちづくりの推進(防災・安全)

# 都市防災事業計画(当初)

## (宿毛地区外1地区都市防災総合推進事業)

高知県宿毛市

平成29年3月8日

(様式1)整備方針等  
整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

(市域全域及び事業地区【宿毛(西部)・片島】における防災上の現状及び課題)

宿毛市は四国の西南端(東経132度43分、北緯32度56分)に位置しており、東西34.17km、南北45.42kmで、離島沖の島、鶴来島を含み、面積は285.32km<sup>2</sup>である。人口が21,449人(平成28年4月1日現在)である。全般的に山岳、丘陵地帯により構成されており、全域の84%が森林地帯で篠山を主峰として全体的に東部及び宿毛湾に向かって低くなっている。平野部は全面積の16%であり、都市計画区域内の人口が全体の60.9%、人口密度600人/km<sup>2</sup>と高知県平均の110人/km<sup>2</sup>と比べ6倍近い数字となっており、低地の平野部に人口が集中し、市街地は2級河川松田川をはじめ、中筋川などの流域に沿って形成されている。

(全体課題)前回の南海地震では、人的被害64人、家屋被害618棟の被害を受け、海に近い民家では高さ1.3mの津波を受けたとの記録があるなど、幾度となく津波による被害を受けてきた。

(市街地課題;宿毛地区西部)

市街地中心部においては、指定避難所として位置づけられている宿毛小中学校及び文教センターの収容人員不足や中心市街地のほぼ全域が水没し、浸水が長期化することが予測されており、一時的な高台への避難は可能としても、長期浸水による津波避難場所の孤立化が課題となっている。

(其他地区課題;片島地区)

避難経路・津波避難場所の整備は、宿毛市地域防災計画にある整備計画に基づき、津波被害が予想される沿岸部を中心に優先的に整備を行ってきたが、津波避難場所の整備が完了しておらず、津波に対する安全性が確保出来ないことから、津波避難場所の整備が求められている。

(対策概要)

津波避難場所や防災活動拠点の整備に加え避難経路の整備等ハード施策を進めると共に、避難経路や避難施設の安全性の調査を基に自主防災組織と連携した避難訓練や防災教育といったソフト施策と一体的に取り組むことで大規模災害時における迅速な防災活動が行えるよう都市防災機能の向上を図ることが急務である。

近い将来に発生が予想される次期南海トラフ地震においては、本市の最大震度6強、最高津波高25m、津波到達時間は地震発生後約8分で、被害想定は建物約7700棟、人的被害は早期避難率6%の想定で津波による死者は9,400人、同負傷者は390人、揺れ(建物倒壊)による死者は30人、同負傷者は700人と想定されており、壊滅的な被害が予想されている。こうした被害を最小限に抑えるため、宿毛市では、ソフト対策として平成15年度より自主防災組織の設立を進め平成28年4月1日現在全体の98.4%の地区で組織を結成し、育成や防災教育を行い、防災訓練には津波の浸水情報を図示したハザードマップを利用するなど、防災意識の向上に努めるとともに避難訓練は地区ごとに年に数回実施している。また、ハード面では、避難経路の整備や公共施設の耐震化、避難誘導板の設置などの対策を随時行っており、住民には個人住宅耐震診断の補助等を積極的に行っている。

【整備方針】

(市域全域及び事業地区【宿毛(西部)・片島】における防災上の課題解決のための整備方針)

宿毛市では、平成13年4月に宿毛市振興計画を策定し、都市づくりの目標や街づくりの将来像、目標達成のための施策を定めている。この宿毛市振興計画において防災対策は施策大綱のひとつ「豊かで安全・快適な生活を送れるまち」として、宿毛市地域防災計画の策定や防災の基盤整備をはじめ、風水害、地震、高潮、津波などの災害対策の充実に努め、市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを進めております。その内容として、まず南海トラフ地震等の災害で想定される被害の軽減させるため、治水、治山対策や防災に関する諸施設の整備、組織の充実や防災訓練など総合的な防災対策の整備を推進している。また、平成28年5月に修正した宿毛市地域防災計画(震災対策編)においても、近い将来に発生が予想される次期南海トラフ地震への対策として地震防災上緊急に整備すべき施設等の整備計画を定め、早急に整備することとしている。

(市街地整備方針;宿毛地区西部)

宿毛市中心部においては、多くの避難住民を収容可能な宿毛小中学校へ至る避難路のより一層の安全化を図り、宿毛小学校の改築に併せた防災機能の充実化を進めるとともに、避難施設の拡充はもとより市民の防災意識の向上を図るために避難訓練や消火訓練、救命講習等防災教育を、自主防災組織と連携して実施することで、災害時に迅速かつ円滑な避難活動が行える体制の構築を図る。

また、中心市街地のほぼ全域が水没し、浸水が長期化することが予測されるため、災害時におけるヘリ離着陸可能スペースを備えた津波避難場所を宿毛地区西部に新たに整備し、長期浸水に対応できる避難施設を具備する。

(其他地区整備方針;片島地区)

高知県が平成24年12月10日に発表した南海トラフ巨大地震による最大津波高の予測や今後の報告資料を基に、現状津波避難場所の安全性を確認し、整備を早急に進めると共に、自主防災組織と連携し、防災訓練等ソフト対策を進めることで災害時に迅速かつ円滑な避難活動が行える体制の構築を図る。

(様式2)計画事業一覧

### 計画事業一覧

都道府県名	高知県	市町村名	宿毛市	計画期間	平成29年度～平成33年度	
担当部局名	— 都市建設課 都市計画係	部(局) 担当者	(正) 係長 松本 雅人 (副) 課長補佐 小島 裕史	連絡先	TEL 0880-63-1120(内線257) FAX 0880-63-0174 e-mail <a href="mailto:masato-matsumoto@city.sukumo.kochi.jp">masato-matsumoto@city.sukumo.kochi.jp</a>	

事業区分		事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業 における事業期間		補助率	補助事業費(予定)額	
					開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費
地区公共	地区公共 施設整備	宿毛市	宿毛地区西部(津波避難場所整備) A=2.0ha	2,030	平成31年度	平成33年度	1/2	600.0	300.0
		宿毛市	片島地区(津波避難場所整備) A=300m2	13	平成29年度	平成29年度	1/2	20.0	10.0
合計								620.0	310.0

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

(様式3)関連事業[都市防災上の課題解決に関する事業]

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模(面積、延長、幅員等)	総事業費 (国費ベース)	事業期間		事業実施状況	重点密集 市街地の有無
					開始年度	終了年度		
街路事業	宿毛市	宿毛地区 (中心部)	桜町沖須賀線 L=230.0m,W=8.0m	164  (101)	H29	H33	宿毛市中心市街地から避難路として整備する土居の後線に隣接する道路であり、街路事業により道路の改築(拡幅)を行う。	無
道路事業	宿毛市	宿毛地区 (中心部)	中央線 L=380.0m,高質化	326  (196)	H29	H31	街路事業の効果促進事業でH23年度より事業を実施。桜町沖須賀線の改築と併せて、中央線の水路改修及び高質化を行うことで、街のにぎわい再生の推進を図る。	無
宿毛小学校建設事業	宿毛市	宿毛地区 (中心部)	10000.0㎡	2454  (368)	H29	H33	学校施設環境改善交付金(予定)を利用し、宿毛小学校の隣接地を用地取得し、現敷地を拡張した上で校舎及び体育館、プールを改築する。	無

注) 総事業費について百万円単位。

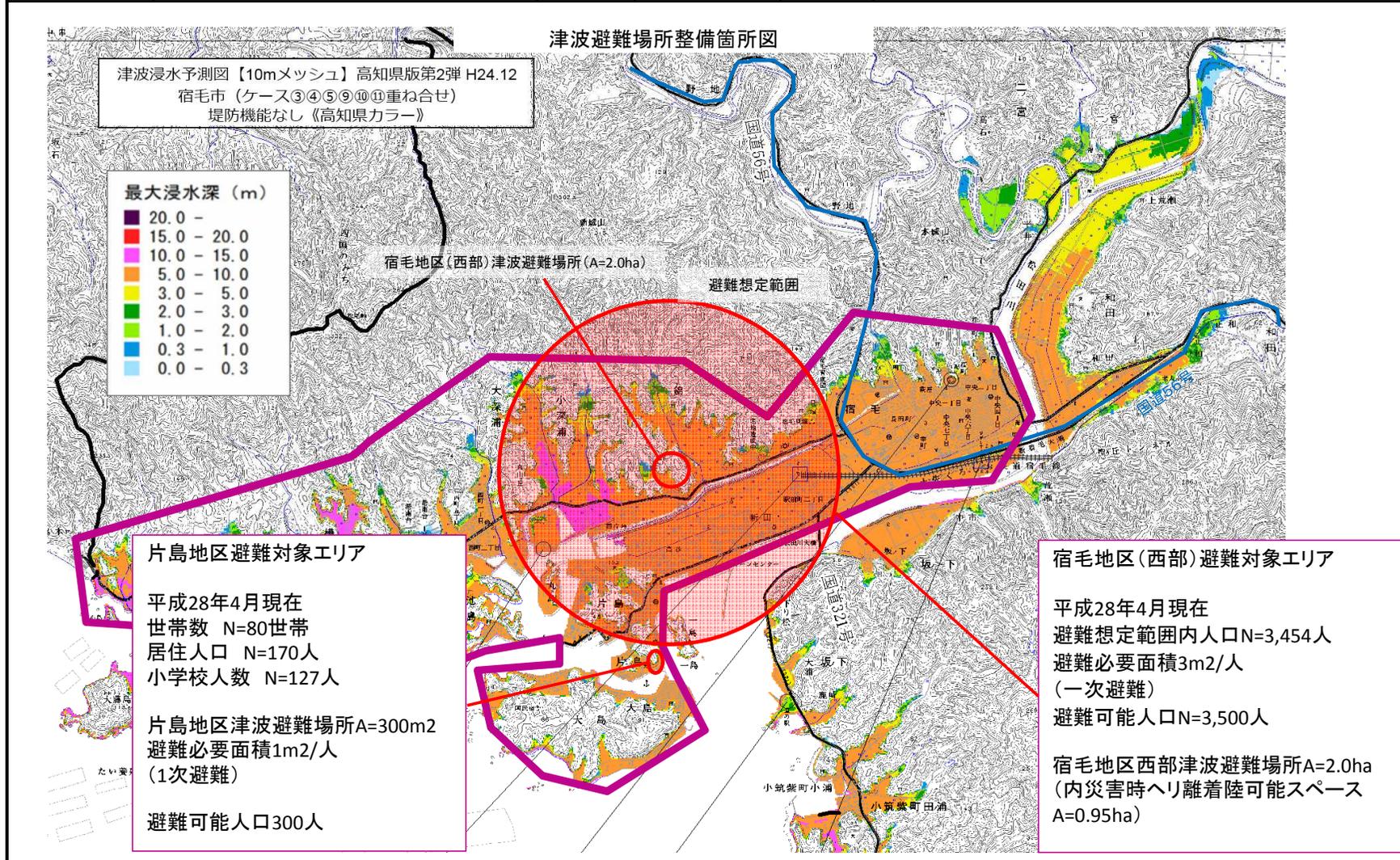
(様式4)年度別事業計画

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

事業区分		事業主体	事業地区名 整備内容	重点密集 市街地	補助率	[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】					
						H29	H30	H31	H32	H33	計
	地区公共施設	宿毛市	宿毛地区西部(津波避難場所整備) A=2.0ha	×	1/2			100.0	100.0	100.0	300.0
			片島地区(津波避難場所整備) A=300m <sup>2</sup>	×	1/2	10.0					10.0
合計						10.0	-	100.0	100.0	100.0	310.0

(様式6) 現況図 等(1/4)

地区名	宿毛地区	面積	A=2,030.0ha	区域	宿毛市宿毛地内
-----	------	----	-------------	----	---------



(様式6) 現況図 等(2/4)

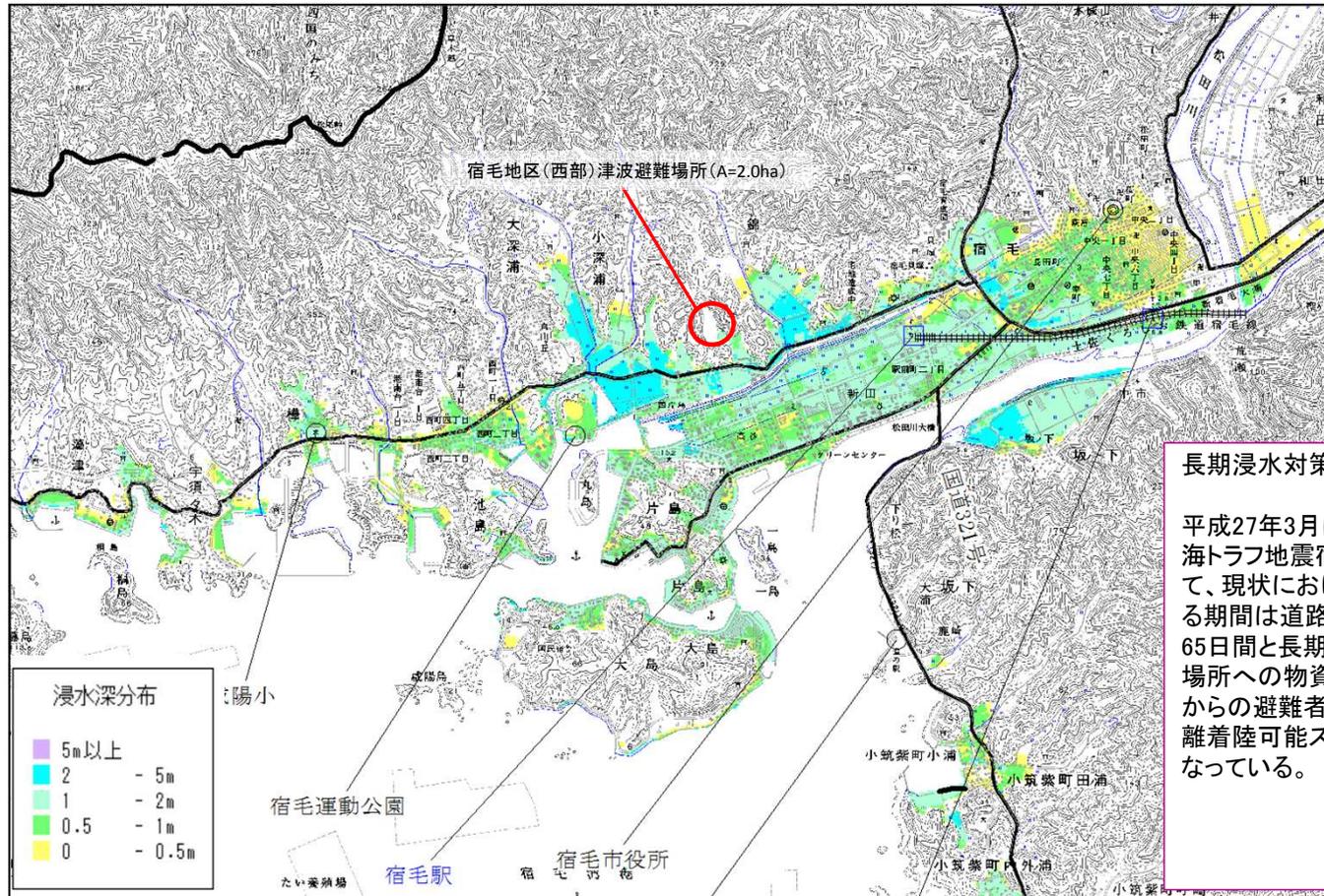
地区名	宿毛地区	面積	A=2,030.0ha	区域	宿毛市宿毛地内
-----	------	----	-------------	----	---------

宿毛地区長期浸水対策

最大クラスの地震による長期浸水予測(L2)

想定最大地盤沈降量:-2.4m(三重県南部沖~徳島県沖と足摺岬沖に大すべり域を設定)

想定対象潮位:T.P.+1.1m



**長期浸水対策**

平成27年3月に高知県が策定した「南海トラフ地震宿毛市長期浸水対策」にて、現状における排水完了までに要する期間は道路啓開計画を考慮すると、65日間と長期になっており、津波避難場所への物資の輸送・津波避難場所からの避難者搬送のため、災害時へり離着陸可能スペースの確保が急務となっている。

(様式6) 現況図 等(3/4)



(様式6) 現況図 等(4/4)

